

学校運営協議会議事録

校名	府立西淀川支援学校
(准)校長名	貴志 英彦

開催日時	令和7年6月12日(木) 10:00 ~ 12:00
開催場所	府立西淀川支援学校 2階図書室
出席者(委員)	山中会長 中西副会長 大槻委員 西野委員 中尾委員 田中委員
出席者(学校)	貴志校長 中尾事務長 西田教頭 大石教頭 曾利首席
傍聴者	なし
協議資料	1 令和7年度学校経営計画及び学校評価 2 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)における児童・生徒招待事業 3 地域との連携(地域の力を学校へ、安全を地域とともに作る)

議題等(次第順)

- 事務局より
  - ・学校運営協議会実施要項 ・保護からの意見(意見書)の受付方法 ・傍聴に関する要領
- 議事
  - (1)令和7年度学校経営計画および学校評価
  - (2)2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)における児童・生徒招待事業
  - (3)地域との連携(地域力を学校へ、安全を地域とともに作る)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 事務局より
  - ・学校運営協議会実施要項について、承認。
- 議事
  - 1 令和7年度学校経営計画および学校評価について(校長より説明)  
(意見)
    - ・校長と教職員との面談の中での話をとおして、各々の思いに気づき、学校経営に活かしてほしい。
    - ・人権について日々意識しながら、児童生徒と接してほしい。
 (質問)
    - ・学校における面談とはどのようなことか？  
⇒評価育成システムという制度があり、教職員が1年間の計画を立てて、それを実行できたかを校長が一人ひとりと面談を行う。
    - ・人事異動はどのように行われているのか？  
⇒知的障がい校・肢体不自由校等を計画的に異動しながら自己研鑽を積み重ねていき府全体として質を上げていこうとしている。場合によっては、各教職員の転居や子育て等に事情による異動もある。
    - ・人権教育について、児童生徒にどのように進めていこうと考えているか。  
⇒府としても重点課題として考えている。支援学校に限らず、小学校・中学校・高等学校でも課題となっており。教師としての専門性の一つとなっている。本校でも人権尊重の教育を進めていく。まず身近な取り組みとして、〇〇ちゃんと呼んでいたのを、〇〇さんと呼ぶことを一つの例として進めていく。
    - ・OJTをどのように行っているか？  
⇒教育センターで行われているメンターメンティの関係の研修受講。校内でもOJTでの指導を重視している。
    - ・働き方改革はどのように行っているか？  
⇒定時退勤を推奨している。やむを得ない場合の残業を、18時以降は申告制にした。その場合は個人の仕事を時間とした。意識改革が進んでいる。
    - ・アセスメント・チェックリストを授業改善にどのように活かしていくのか？  
⇒児童生徒理解の基礎としている。また、教科指導と関連付けて今後も取り組む。
  - 2 2025日本国際博覧会(大阪・関西万博)における児童・生徒招待事業について(首席より説明)  
(意見)
    - ・より充実したものとするために、時程の見直しを行えないか。  
⇒通学バス利用では、限界がある。しかし限られた時程の中で内容の充実を図っている。
  - 3 地域との連携(首席より説明)  
(意見)
    - ・大和田地域でも様々な活動を実施しているので、積極的参加してほしい。

次回の会議日程

日時	未定(令和7年11月下旬予定)
会場	西淀川支援学校 2階図書室